

原野化学工業所など 7 企業の動画制作



原野さん(左)から説明を受ける学生

六月二十四日には拾石町にある「原野化学工業所」を学生三人が訪問した。同社では不要になったプラスチック製品を粉碎したり熱を加えたりして、ハウスバ

動画づくりが始まった。や経営者の思いを紹介するインタビューを通して会社の特徴や経営者の思いを紹介する動画づくりが始まった。

蒲郡市は愛知工科大学情報メディア科と地元企業が協働した地域活性化プロジェクトに取り組んでいる。地域活性化の担い手不足、地域コミュニティ衰退、まちの活力低下。市の課題解決に欠かせないのが若者の力と関わりだ。同校大学生にとっても、これまで接点の少なかった地域と接する機会につながる。地元企業は学生に情報を伝えるきっかけになる。プロジェクトは来年二月ごろまで。同校・尾関智恵准教授が指導している三年生三十三人が参加している。

先月十五日からは学生三人から四人が地元の七事業所を訪問、製作工程や仕事の内容、経営者のインタビューを通して会社の特徴や経営者の思いを紹介する動画づくりが始まった。

このほか「金トビ志賀」(製造)、「水車」(デザイナー)、造「リキュー」(住宅)、「筐や Group」(飲食)、「イチオリ」(織布)、「鈴木新聞舗」(配達)を取材した。企業の選定は蒲郡青年会議所や蒲郡商工会議所青年部のメン

バーらが中心となって組織している「協働まちづくり会議」が協力した。取材を終え、現在は編集作業の真っ最中。学生たちは「コロナ禍、企業で仕事を体験するインターンシップができない状況。それだけに、現場に行ける貴重な経験になった」と感想を話しているという。

九月ごろには地元企業の人たちを招き、愛知工科大学で発表会を開催する。十一月から来年二月にかけては地域課題に活用できる研究シーズの発掘、産学官連携事業の検討を目指した「まちづくりハッカソン」を開く予定だ。「ハッカソン」は本来プログラム開発のアイデアや力量を競うイベント。今回のテーマはまちづくり。学生と企業の人たちが集まり、研究に向けたアイデアを出し合う予定だ。



発行所
蒲郡新聞社
蒲郡市旭町 9 番地 9
〒443-0045
電話・FAX (0533) 68-2684

3つの密

密閉

換気の悪い空間

密集

大勢集まる空間

密接

間近で会話・
発声をする場面

をさけましょう